

Economic Indicators

発表日: 2022年7月15日(金)

主要経済指標予定(2022年7月18日~7月22日)

(株)第一生命経済研究所 経済調査部
日本経済短期チーム (TEL: 03-5221-4525)

(7月18日~7月22日の主なイベント、指標予定)

	指標名	当社予測	市場予測	市場予測レンジ	前回結果
7月18日 (月)	海の日				
7月19日 (火)					
7月20日 (水)	8:50 7月主要銀行貸出アンケート調査 金融政策決定会合 (~21日)				
7月21日 (木)	8:50 6月貿易統計 輸出金額 (前年比) 輸入金額 (前年比) 貿易収支 (原数値、億円) 日銀総裁定例記者会見 7月日銀展望レポート	+18.3% +48.1% ▲16,056	+17.2% +46.3% ▲15,097	+13.4%~+22.0% +40.0%~+51.0% ▲20,600~▲11,871	+15.8% +48.9% ▲23,858
7月22日 (金)	8:30 6月消費者物価指数 (全国) 全国コア (前年比) 全国総合 (前年比)	+2.2% +2.2%	+2.2% +2.4%	+2.1%~+2.3% +2.2%~+2.5%	+2.1% +2.5%



6月貿易統計・貿易収支額（原数値） 当社予想：▲16,056億円 中央値：▲15,097億円

6月の貿易収支を、▲21,249億の赤字（季節調整値）と予想する。実質輸出（季節調整値）は、5月に持ち直したが6月は再び前月比で減少となった可能性が高い。供給制約の悪影響が残存したほか、景気減速の兆しが見える米国向け、欧州向け輸出が低調となったと予想する。先行きは、急速な金融引き締めやウクライナ情勢の影響を受ける米国、欧州の景気後退懸念が強まっており、輸出が下押しされる可能性が高い。当面は高水準での貿易赤字が続くとみる。

（副主任エコノミスト：大柴 千智）

6月全国消費者物価指数（生鮮食品除く総合） 当社予想：前年比+2.2% 中央値：同+2.2%

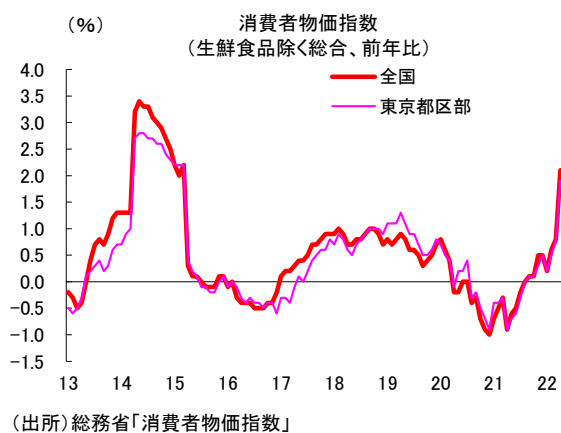
CPI コアは前年比+2.2%と、前月からやや伸びが高まると予想する。エネルギー価格の伸びは前月から大きな変化はないが、食料品値上げが一段と進んだことが押し上げ要因となる見込み。今後も食料品価格上昇は続くとみられ、年内のCPI コアは2%超で推移する可能性が高い。

（シニアエグゼクティブエコノミスト：新家 義貴）

図表1



図表2



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所調査研究本部経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。